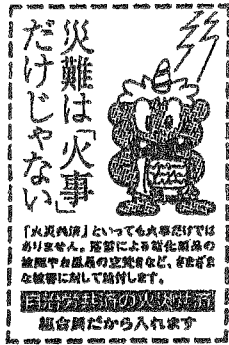


明石市労連ニュース

第332号

12年6月4日

発行 明石市
労働組合連合会



本日、最終交渉

職員の頑張りに報いよ

一時金・人員確保闘争

明日の一時金ストを背景に、夏季一時金及び人員確保に関する要求についての労使協議が続いている。夏季一時金については、当局の考え方は、当初回答組合員の期待は大きい。地

域手当の段階的引き下げもあり、支給月数は昨年並でも、平均支給額は昨年を下回っている。納得できるものではない。」と主張している。新たな経費負担は考えられない。」との姿勢に終始して

いる。最終交渉日を迎える中で、懸命に頑張っている職員に報いるため、勤務条件全般の中で改善できる部分を見い出す努力を最大限行うことと、臨時職員等の一時金水準の改善について再考するよう求めている。

正規職員の増員を

市職労

組合は、各職場から出された百三十三人の人員要求を踏まえ、これ以上の正規職員の減員は認めない立場で、別表の定年退職予定者数は最低限正規職員の採用で対応し、これにいくらプラスできるかを焦点に当局との協議を進めてきた。昨日までの当局との協議

士3名、臨床心理士1名の採用を予定することとなった。最終的な退職者数は、今後の希望退職や普通退職の状況により異なるが、これ

また、可能な限り職員の前倒し採用を行うことを確認した。

平成24年度末
定年退職予定者数(行政職)

職種	人数
事務	18
土木	8
建築	1
電気	3
機械	1
保健師	1
保育士	2
合計	34

中央委員会

本日 午後6時15分～
場所 市民会館
第1～2会議室

待機交渉
超勤拒否

明日 15日(金)
県本部統一1Hスト